

皇室費 令和元年度省庁別財務書類の概要

省庁別財務書類について

1. 作成目的
皇室の一般会計の財務状況を開示。
2. 作成方法
「省庁別財務書類の作成基準」に基づき作成
3. 各財務書類の表す財務情報
(貸借対照表)
資産及び負債の状況を開示。
(業務費用計算書)
本年度に発生した費用の状況を開示。
(資産・負債差額増減計算書)
貸借対照表の前年度末資産・負債差額と本年度末資産・負債差額の増減を要因別に開示。
(区分別収支計算書) ▲
歳入歳出決算の財政資金の流れを区分別に開示。

皇室費の業務等の概要

皇室の費用は、内廷費、宮廷費及び皇族費の三つに分かれています（皇室経済法第3条）。

内廷費は、天皇・上皇・内廷にある皇族の日常の費用その他内廷諸費に充てるものとし、法律で定める定額を毎年支出されます。

宮廷費は、儀式、国賓・公賓等の接遇、行幸啓、外国ご訪問など皇室の公的ご活動等に必要な経費、皇室用財産の管理に必要な経費、皇居等の施設の整備に必要な経費などです。

皇族費は、皇族としての品位保持の資に充てるためのもので、各宮家の皇族に対し年額により支出されます。

参考情報

公債発行対象経費及び歳出決算額の累計額等を基礎として配分される本年度末公債残高
 億円、本年度公債発行額 億円、本年度利払
 費 億円

貸借対照表

(単位:十億円)

[illegible]

業務費用計算書

(単位:十億円)

	前年度	元年度	増減
内廷費	0.3	0.3	－
皇族費	0.3	0.2	△0.1
宮廷費	6	5	△1
減価償却費	1	2	1
資産処分損益	0.0	0.0	△0.0
本年度業務費用合計	8	8	0

資産・負債差額増減計算書

(単位:十億円)

	前年度	元年度	増減
前年度末資産・負債差額	648	673	25
▶ 本年度業務費用合計 (A)	△8	△8	△0.0
財源合計 (B)	9	8	△1
租税等財源	9	8	△1
資産評価差額	24	25	1
▶ 本年度末資産・負債差額	673	699	25
(参考) (A) + (B)	0.8	△0.4	0.3

区分別収支計算書

(単位:十億円)

	前年度	元年度	増減
業務収支	0.0	0.0	0.0
財源	9	8	△1
業務支出	△9	△8	1
財務収支	△0.0	△0.0	△0.0
本年度収支(業務収支+財務収支)	－	－	－
本年度末現金・預金残高	－	－	

主な科目の内訳

(カッコ内は前年度からの増減額)

(貸借対照表)		
・国有財産(公共用財産を除く)		
	6,983 億円	(252 億円)
土地	6,790 億円	(256 億円)
建物	87 億円	(△8 億円)
工作物	86 億円	(△1 億円)
(業務費用計算書)		
・宮廷費	58 億円	(△6 億円)
・減価償却費	24 億円	(7 億円)

主な増減内容

1. 貸借対照表
(資産)・・・254 億円増加
土地…国有財産台帳の価格改定による増
256 億円
2. 業務費用計算書・・・1 億円増加
減価償却費の増
7 億円
3. 資産・負債差額増減計算書
本年度業務費用合計と財源合計との差額
△5 億円
(左記(A) + (B)により算出)
⇒企業会計の「当期純利益」に相当
4. 区分別収支計算書
財源…配賦財源
△12 億円
業務支出(施設整備支出を除く)
6 億円
業務支出(施設整備支出)
6 億円